

退路を断たれると
人間は真剣になる

村上 きょうは健体康心というテーマですが、我々の先輩では聖路加国際病院の日野原重明先生が九十六歳でまだ現役です。

行徳 まさに健体康心の人生そのものですね。日野原先生の年まで村上先生はあと……。

村上 二十四年。はるか彼方です。

行徳 アハハ。きょうは私も二人で話ができるのを楽しみにしてきましたが、村上先生と岩崎社長は久しぶりの

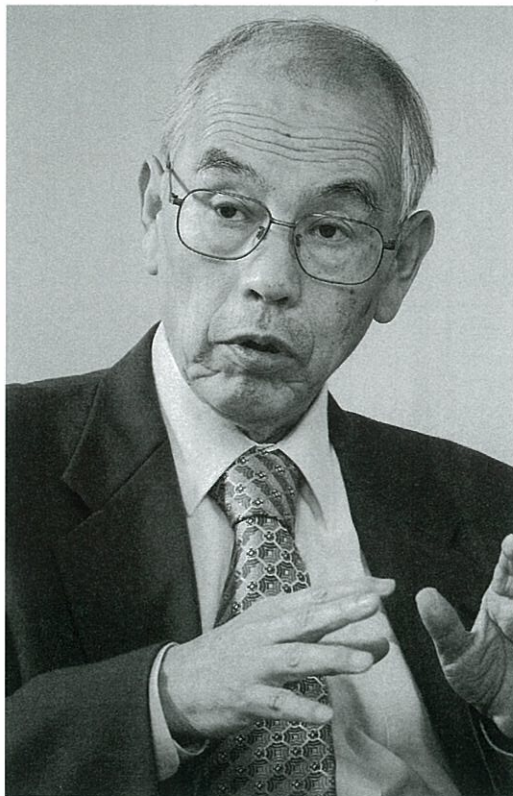
対面だそうですね。

岩崎 はい。尊敬する両先生とお話ができるというので、大変光栄に思っています。

行徳 村上先生は遺伝子工学、岩崎社長は食の専門家です。健康についてそれぞれのお持ちだと思えますが、村上先生はこれまで病気をされたことは？

村上 私は幸いに大病したことはありませんが、精神的に死にかけたことはあるんです。研究歴五十年の中で最大のピンチは大学紛争の時でした。これこれ四十年前のことです。当時の世相はとにかく狂気じみていました。私は助手でしたけれども、助手の私たちが教授を追放するという集会を開くんです。教授を手助けする立場にありませんが、反逆するわけだから、あり得ないことが起きたわけです。

私は助手会の執行部の一人として助手層と教授層の対立の狭間にありましたから、次第に心身に激しい疲労を感じるようになり、ある時、気持ちを切り替えるために「アメリカに行こう」と決心したんです。そうしたら過激派の学生に捕まって「村上先生がやろうとしているのは敵前逃亡だ。敵前逃亡は銃殺刑だ」と。そういう状況の中で



筑波大学名誉教授

村上和雄

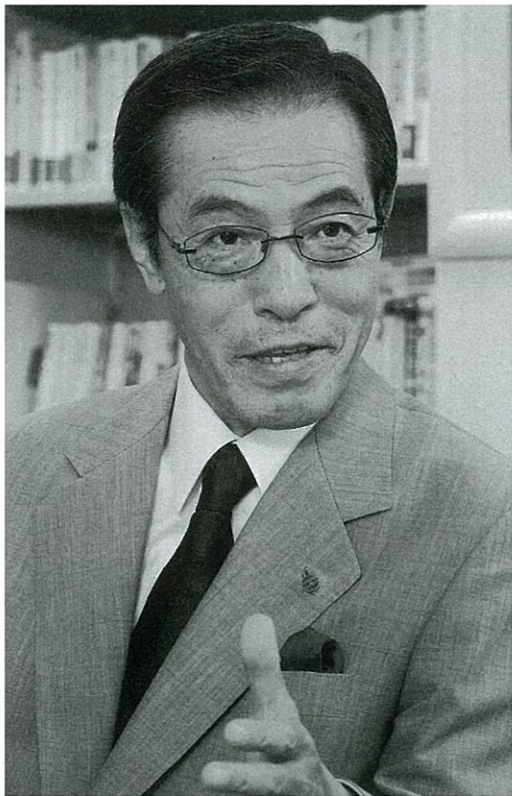
むらかみ・かずお 昭和11年奈良県生まれ。38年京都大学大学院博士課程修了。同年米国オレゴン医科大学研究員。米国バンタビルト大学助教授などを経て、53年筑波大学応用生物化学系教授に就任。58年には昇任酵素「レニン」の遺伝子工学の全暗号解読に初めて成功。遺伝子工学で世界をリードする研究者の一人。著書に『心の力』(致知出版社)『生命の暗号』『人生の暗号』『遺伝子工学で生きる』(ともにサンマーク出版)『そうだ！絶対うまくいく』(海竜社)など。



日本B E研究所長

行徳哲男

ぎょうとく・てつお 昭和8年福岡県生まれ。35年財閥系の会社に入社し労働競争の処理に当たる。46年日本B E研究所を設立。米国の行動科学と感受性訓練を東洋の神と融合した哲学的訓練を創始する。30年間で1万8千人を教導。『随処に主となる』『感奮語録』(ともに致知出版社)などの著書がある。



玄米酵素社長

岩崎輝明

いわさき・てるあき 昭和19年北海道生まれ。45年玄米酵素と食生活の改善で健康を取り戻した経験から46年玄米酵素を創業。現在では正しい食生活の原則を「食事道」と提唱。全国各地で年間100回を超える講演活動を行っている。北海道師友会理事長、NPO法人日本総合医学会理事。著書に『21世紀の健康を考える』『食事道のすすめ』(毎日新聞社)など。

人間が心身の健康を維持し、幸せを手に入れるにはどうしたらいいのだろうか。遺伝子工学の第一人者として知られる筑波大学名誉教授の村上和雄氏、

長年人間教育に携わってこられた日本B E研究所所長の行徳哲男氏、

自らの闘病経験から健康食品会社を設立し「食事道」の普及に努める玄米酵素社長の岩崎輝明氏に、それぞれの視点から健康論、そこからもたらされる幸福論を縦横に語り合っていた。

健体康心の実践学

人を幸福に導くもの

●鼎談

村上和雄 & 行徳哲男 & 岩崎輝明